

人やまちを元気にする

創業からの歴史を踏まえ、着実な建築創造活動を通じて顧客と社会が求めるものを的確に実現します。かたちとして生まれた建築、その中で育まれたプロセスが地域・社会を豊かにし、人の心を元気にする。そうした願いを抱きながら、人と社会に寄り添い、未来へと貢献してまいります。

私たち安井建築設計事務所は、2024年に創業100周年を迎えます。その節目の年からの大きな飛躍に向けて、社員ひとりひとりの豊かな個性と着想を大事にして取り組んでまいります。

さて、建築には<人やまちを元気にする力>があると私たちは確信しており、これを大事なメッセージとして発信してきました。建築には、実現するプロセスに関わる発注者・設計者・施工者ほかすべての人たちが地域社会に、元気や勇気、そして喜びをもたらす力があると感じているからです。建築と、それをつくるプロセスを、社会の価値向上につなげたい、私たちはそう考えております。

そのような、社会の価値を高める取り組みの重要な要素として、安井建築設計事務所は、早くからBIMを設計に徹底的に活用し、さらに社会に普及定着するための貢献を続けてきました。BIMは、データをつなぎ活用できる点で長じていますが、作業の効率化に留まらず、環境をはじめとした、都市にある課題解決や地域のまちづくりを先取りする、有効なツールです。地域の明るい未来を切り拓くBIMをさらに追究してまいります。

このように、私たちは多くの経験と知見を積み重ねてきました。しかしそれ以上に、新しい価値創出を目指すためにさらに創造力を磨き、幅広く知恵を統合するなどにより、社会のためのチャレンジを加速させます。どうぞよろしく申し上げます。

2023年4月1日

株式会社安井建築設計事務所

代表取締役社長

佐野吉彦

#### 佐野吉彦プロフィール

1954年神奈川県生まれ。1979年東京理科大学工学部一部建築学科卒業、1981年東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了。1986年株式会社安井建築設計事務所入社。1997年同代表取締役社長、現在に至る。

日本建築士事務所協会連合会会長、大阪府建築士事務所協会会長、日本建築家協会副会長・国際委員長、日本建築協会会長、UIA2011東京大会(第24回世界建築会議)日本組織委員会運営部会長などを歴任。

現在、東京理科大学理事、一般社団法人BIM教育普及機構 理事長、NPO法人取手アートプロジェクトオフィス理事長、大阪府建築企業年金基金理事長、大阪府建築健康保険組合理事長、一般社団法人DOCOMOMO Japan 監事、JIA-KIT 建築アーカイヴス監事、平河町ミュージックス実行委員長、大連理工大学建築学部客員教授、瀋陽建築大学客員教授、東京理科大学大学院工学研究科客員教授を務めており、京都工芸繊維大学大学院工芸研究科客員教授を歴任した。

2011年国土交通大臣表彰、アメリカ建築家協会名誉フェロー会員、韓国建築家協会名誉フェロー会員、2019年日本建築学会賞(業績)、2022年黄綬褒章受章



# 社会を元気にする

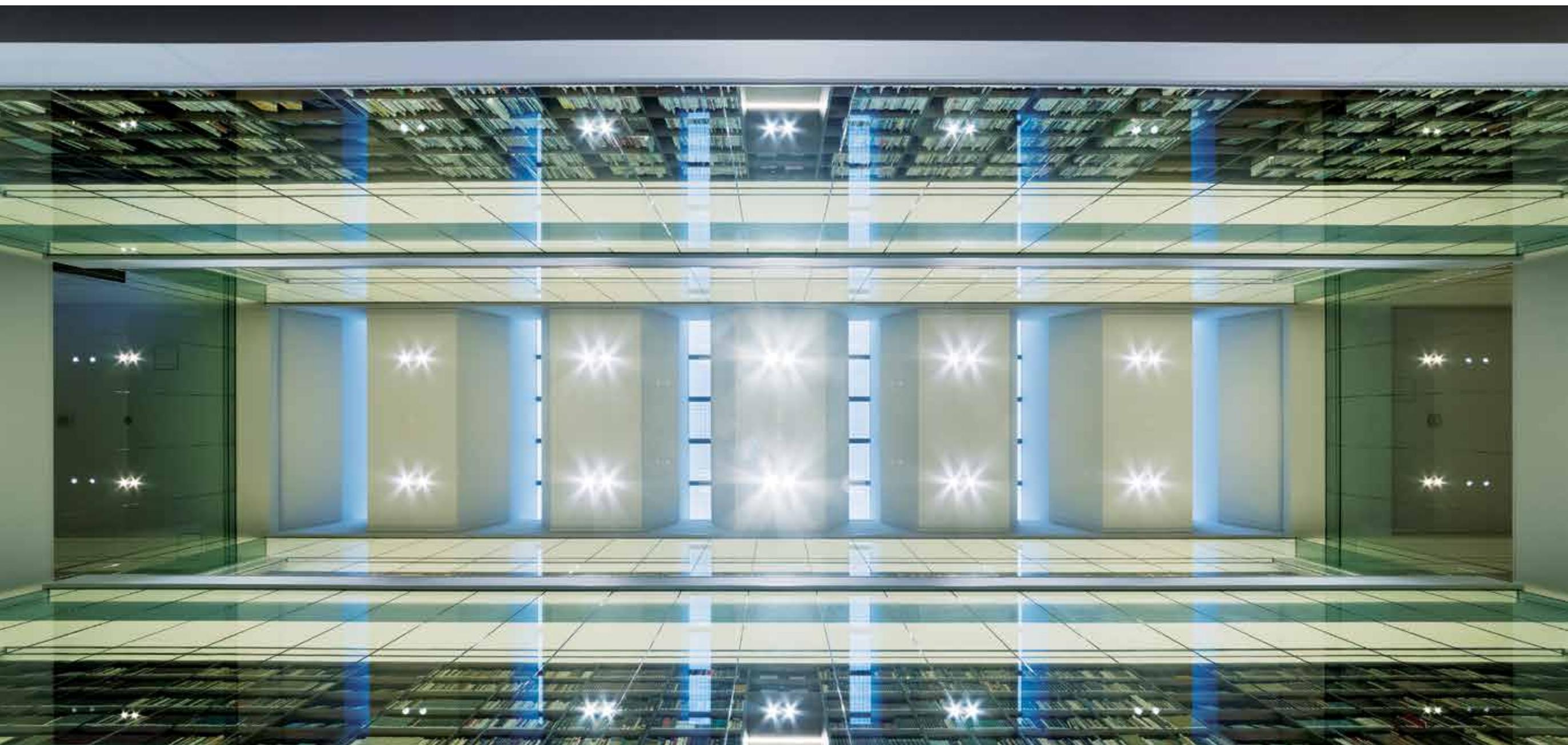
あたらしい建築が生まれることによって、人は意欲や勇気を感じとります。建築ができあがってゆくプロセスもまた、人をワクワクさせ、心を前向きにさせるものです。美しいからでしょうか。それもありますが、それらの場面で、社会が向きあっている課題を、建築が的確に解決しているからだと思います。歴史を眺めてみても、人が社会をつくり、社会が人を育てるなかで、建築はじつに重要な役割を演じてきています。すぐれた建築は、人に前向きな目標と健全さを与え、公平性を指し示します。その使命はこれからも変わらないでしょう。

建築は、人やまちを元気にします。



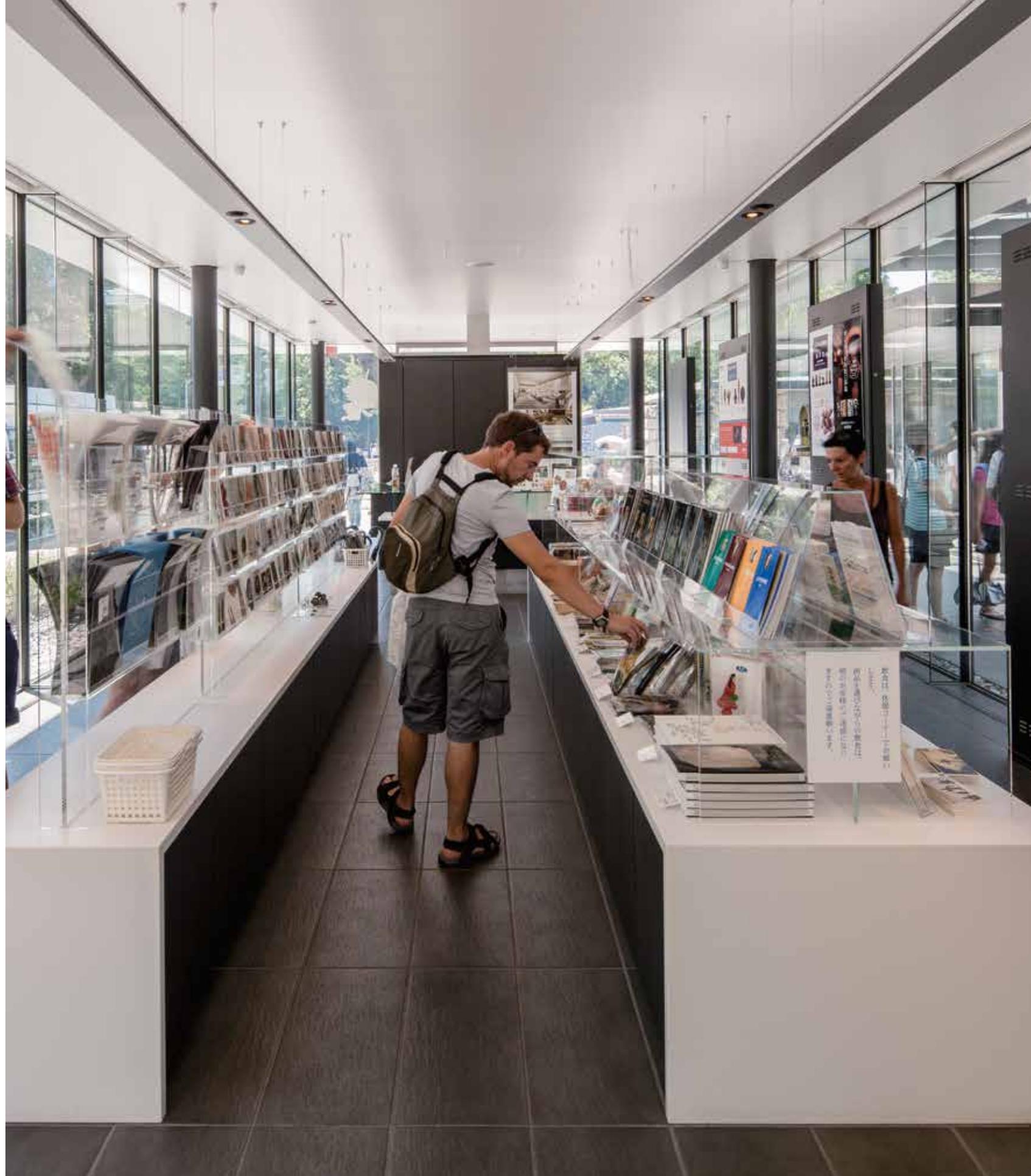
## 都市のこれからを考える

都市は明瞭な形態から始まりました。それから世界のさまざまな場所で、都市は適切な大きさと計画され、ゾーニングや移動システムが設定されてゆきます。しかし変化は決して予測通りには進みません。だから面白いのです。そのような変化は、都市を構成する人々が生み出しました。いかに都市は多様性に満ちているか、フレキシブルなシステムをずっと維持することができるか。都市がひとりひとりを輝かせるステージであるために、私たちは何ができるでしょうか。



## 新たな価値を生み出す

建築に課せられた使命は、時代とともに異なります。建築に宿る価値も、変わるものがあり、大きく変わるものもあります。まだ見ぬ価値というものもあるでしょう。いまは、精神的価値、経済価値というものをもう一度多角的に捉える作業が必須です。それらは、ある時代において、人と人の間で相対的に形成されてきた可能性があるからです。これからの時代の動き、建築を取り巻くもの、建築を成り立たせるものにいつも敏感でありたいと考えます。



## 学びつづける

人はいくつになっても、新しい経験をし、新しい人と出会い、そこから知恵や知識を学びます。何よりも、学びは生きるために必要なことから。一方、教え伝えることも重要です。社会を継承するためには、さまざまな知識を積極的に分有しておく必要があるからです。どうやら世の中は、人は人から学び、人は人を導くことで成り立っているようです。それをスムーズにする場をどのように作るかを、人類はずっと考えてきました。学ぶ場づくりは建築の原点です。



## 責任ある仕事をする

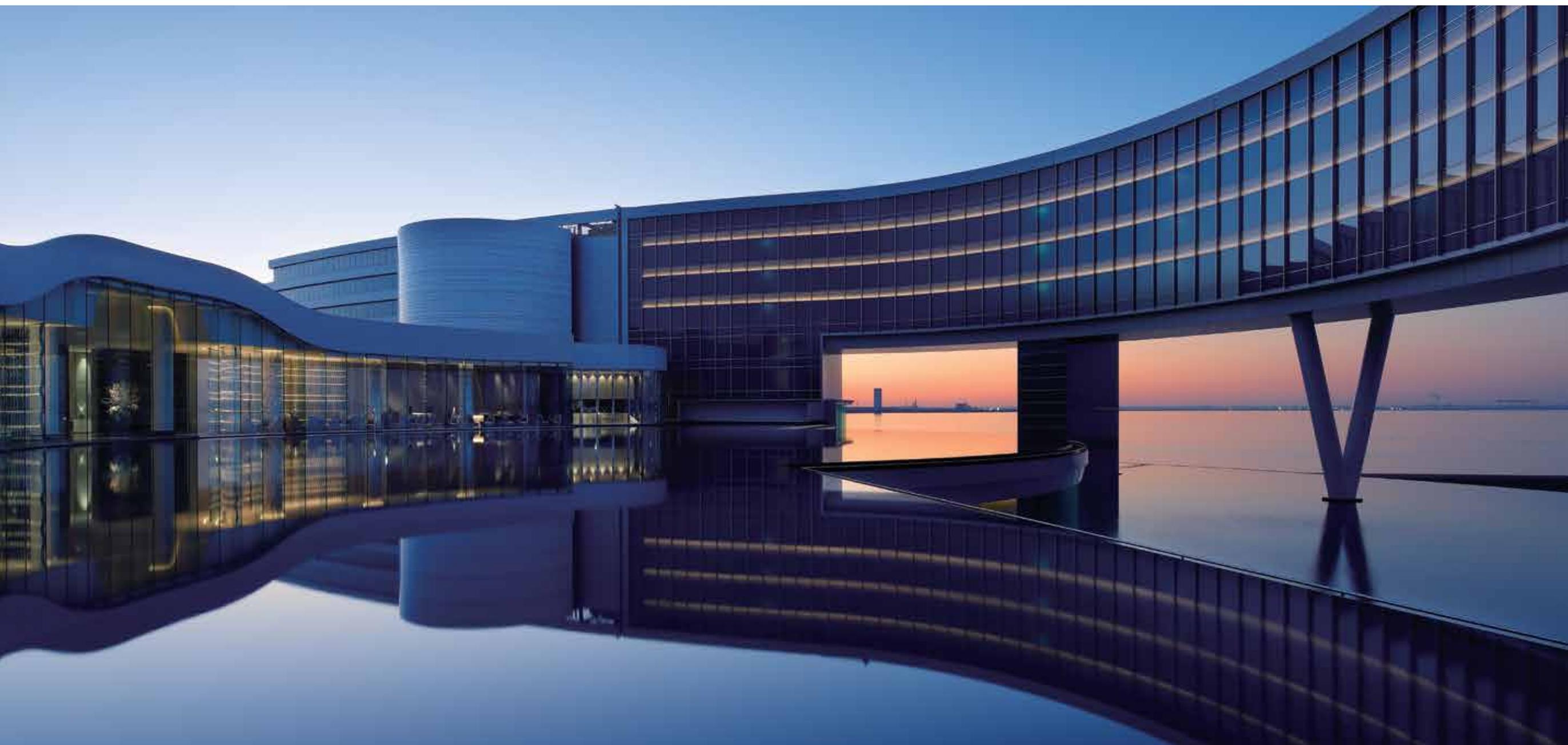
その分野で一流である人を心から尊敬します。その人は卓抜な技量をつねに磨きながら、どのような難局も切り拓いてきたからです。その人は自分ひとりの成果達成だけでなく、別の専門家との共同で結果を導いています。つまり、一流は、事態の中に創意工夫を見出しているのです。そうして、社会的な責任を果たしてきました。さらに、かれ自身が社会から必要とされる存在になり、そしてその仕事が生き延びることに成功しました。仕事に責任を持つことこそ、未来を豊かなものにするために必要な姿勢なのです。



# デザインは眼に見える知性である\*

良いデザインは適切なデザインプロセスから生まれます。同時に、適切な目標を設定しなければよいデザインプロセスも生まれません。すぐれたデザインは、固有の事情を背景にして生まれているのです。そこには知的格闘があり、美しさへの希求がありますが、その達成は、別の場面における格闘に好ましい影響を及ぼしています。明晰で美しい解であれば、一見特殊と思われるものは普遍的な性格を帯びるでしょう。まさに、デザインとは眼に見える知性です。

\*"Design is intelligence made visible"  
(a quote from British designer Frank Pick)

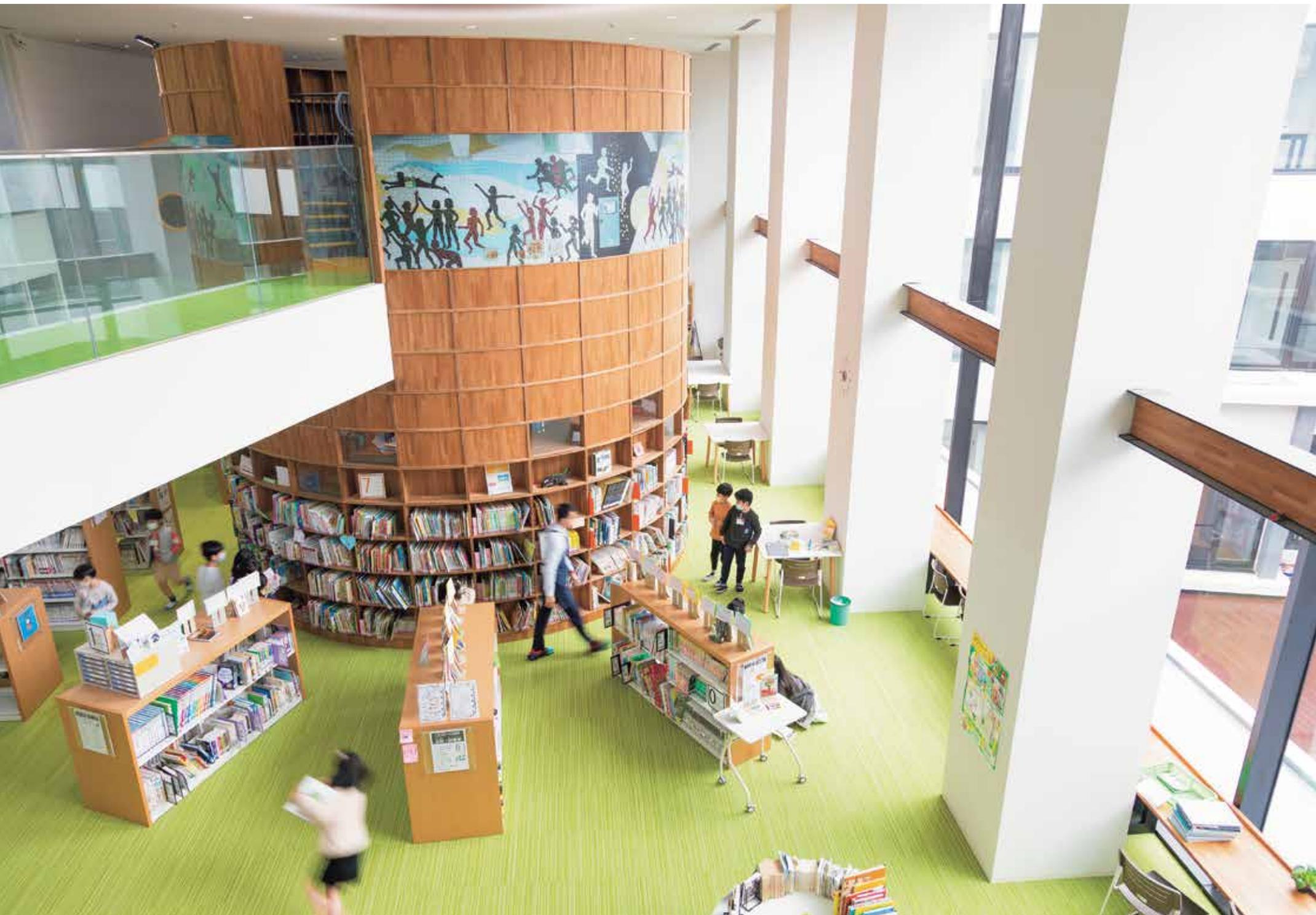




## 世界の未来を考える

地域は有限であり、地球も有限です。われわれはこのなかで、多様な要素と折り合いをつけて生き続けなければなりません。それが一筋縄ではいかない時代に入ってきています。未来のために何をすべきか。環境に対する責任、人と人との関係を維持する責任。それは専門家がそれぞれの持ち場で、あるいは持ち場を越えて果たさねばならないものです。意識と能力を研ぎ澄ませるべき、大事な場面にちがいません。

## 歴史と向きあい、地域に学ぶ



建築は新しい景観をつくりますが、本来は景観が建築を生み出す条件を整えていると考えられます。われわれが日常的に接する場面に宿る情報とは何でしょうか。そこにどのような創意や知恵が潜んでいるのでしょうか。われわれは、歴史から多くの教訓を学び、地域にあったチャレンジから新たな時代のビジョンを組み立てる必要があります。でも、過去の焼き直しに陥ることはやめておきましょう。次の時代の風景は、よりよく生きるための知恵に満ちたものでありたいと思います。



## 社会のために、社会とともに

歴史のなかで、建築設計は、ずっと社会を支えてきました。できあがった建築は、社会が生みだした価値を、さらに実り豊かなものにする役割を担っています。時間をかけて人と社会をやさしく包み、そこにかかわる一人ひとりに光を差し掛け、前に進む勇気を与える建築。これからも、日々の仕事に誠実に取り組み、また100年の歴史を通じて積み重ねた経験や知識を活かした社会貢献を積極化しながら、専門家としての社会的な責任を果たしてゆこうと考えています。



安井建築設計事務所は 2024 年に創業 100 周年を迎えます。企業としての社会的責任 (CSR) を果たしながら、建築設計監理を通じた社会課題の解決と価値の創造に取り組んでまいりました。

社会から信頼される企業であり続けるために、具体的には以下の項目においてこれまで行ってきた取り組みの水準をより高め、SDGs が目指す持続可能な社会実現に向けて貢献します。



#### 質の高い教育をみんなに

次世代を担う人材の育成、地域・社会の発展に取り組んでいます



#### ジェンダーを平等に実現しよう

個々の個性、多様性に応じて働くことができる環境・制度づくりを推進しています



#### 働きがいも経済成長も

社員ひとりひとりが心身ともに健康で、働きがいのある職場づくりを目指しています



#### 産業と技術革新の基盤をつくろう

建築設計にかかわるあらゆる技術の向上、開発、普及にチャレンジしていきます



#### 住み続けられるまちづくりを

地域や環境に配慮した建物づくりを行うとともに、環境・地域・社会・まちの課題に対し事業活動・非事業活動を通じ、解決に向けたソリューションを提供します



#### つくる責任つかう責任

ISO9001 に基づく品質マネジメントシステムを構築し、安全かつ良質な建築設計に取り組んでいます



#### 気候変動に具体的な対策を

低炭素、循環、自然共生社会の実現を目指してさまざまな取り組みを進めます



#### 平和と公正をすべての人に

品質経営を実践し、法令・社会規範の遵守、コンプライアンスの維持・向上の推進など、企業としての社会的価値を高めていくとともに、社会的責任を果たしていきます



#### パートナーシップで目標を達成しよう

サステナブル社会の実現に向けた取り組みを推進するため、さまざまなステークホルダーとの対話を重ねていきます



掲載写真およびクレジット：大阪倶楽部／浅川敏 西九州新幹線 長崎駅／提供：鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
立命館大学 平井嘉一郎記念図書館／エスエス 津田裕之 東京国立博物館 正門プラザ／浅川敏 大阪工業大学  
大宮キャンパス 2号館（建築学科）／AYAMI サントリーホール／提供：サントリーホール ラグーナベイ  
コート倶楽部 ホテル&スパリゾート／黒住直臣 東京国際クルーズターミナル／黒住直臣 台北日本人学校／  
DAICOLO 大心回憶写真 ANA 長崎コールセンター／黒住直臣



**YK 100th**  
ANNIVERSARY

101年目の「つなげる・つながる設計」へ。